

# HIRAKU KEIJIBAN ひらく 掲示板

## フォーラム

### 「家族がいてもいなくても」

講師/ノンフィクション作家 久田 恵さん



第13回女と男のフォーラムは、2月20日(土)午後2時から中央公民館ホールで、ファンタスティックに生きるをテーマにした「アリスのお茶会」を開催する「花丸舎」を主宰し、人形劇団「パベレ

ッタ・カンパニー」の代表でもある久田恵さんを講師に迎えて開催された。久田さんは学生運動をしていたことからは、シングル・マザーでの子育て、父母との同居、息子の不登校、母親の介護、父親の介護、そして「おひとりさま」になった現在まで、ご自身の人生を語られた。カフェでお話を聞いているような語り口でしたが、親や夫、子ども、だれにも依存しない「自立して生きることの大切さ」が強く伝わってきた。

## 表紙作品

### 「片目のラマ」(木版画)

絵かき/中村夏子(津田町在住)

撮影は一橋学園北口商店街のグエン・バン・カフェ前で行われた。カフェには、昨年11月～今年2月まで中村夏子さんの作品が展示された。カフェをのぞくたびに作品がすこしずつ入れ替わり、絵本から抽象画まで、彼女が歩んできた道をうかがわせる作品が並んだが、この「片目のラマ」は、その中でも忘れられない作品のひとつだ。



中村さんは、武蔵野美術大学とユーゴスラビア(現セルビア共和国)のペオグラード芸術大学で油絵と大理石のモザイクを学んだ。留学中に訪れたフランスのバリで、中村さんはラマに会った。ラマの眼はちょうど中村さんの眼と同じ高さのところにあった。なんともいえない、やさしい眼をしていたという。

中村さんによれば、作品の少女は、ラマのふところ育てられた。母なるラマにまたがって、少女は今にも出発しようとしている。ひとり、何も身に付けず、決然として。

撮影場所: 学園坂商店街 表紙写真: 長塚秀人

## DVD

### 「マイガール」

相葉雅紀(嵐)・主演 (東宝)

恋人が姿を消して6年、忘れられずにいる主人公正宗に、突然の訃報。そして、5歳の少女コハルが正宗の前に現れる。コハルは、正宗に内緒で恋人が生んでいた娘だった。自分のことで精一杯、子育ての「こ」の字もわからない正宗だが、未来を真っすぐ見つめて、まぶしいくらいキラキラとした娘の目を見ると、わが子を幸せにしてやりたい、という父性が正宗の心からわきだしてくる。



思いと現実の狭間で苦闘する正宗に、育児参加を求められて戸惑う若いパパたちの姿が重なる。救いは、パパの笑顔が見たくて、パパを気遣い、パパを支えるコハルの姿である。幼い娘に尻を押されるように正宗は自らの生きる道を見つけ、歩き始める。

昨年秋にテレビ朝日で放送されたドラマ「マイガール」は、珍しい若いパパと娘のラブ・ストーリーだが、男性の育児や父子家庭の育児支援の在り方を考えさせられる。(き)

## BOOK

### 「子どもの最貧国・日本」

学力・心身・社会におよぶ諸影響

山野良一・著 光文社新書

まずタイトルがすごい。飢饉も戦争もないのに、日本は子どもの最貧国だという。今の日本は、7人に1人の児童が経済的に貧しくて、ひとり親家庭は、OECD諸国の中で一番貧乏だということを示しているという。



著者の山野良一氏は、児童相談所勤務、米国ワシントンの児童保護局などでのインターンを体験しながら日本の貧しい児童福祉の実態を目の当たりにしてきた。というよりも、子ども達を貧しさから救うために、できる限りの努力をしてきた。公務員の働き方がいろいろ言われているご時世に、公共奉仕を旨とする公務員の鏡のような人なのだ。

山野氏は訴える。人々が貧しい子ども達を見ようとし、つまり社会全体がネグレクトしていることが、子どもの貧困率を上げる一番の理由だと。

日本人は昔から子どもは宝だと思ってきた。その日本人が、他人の子どもの貧困を見て見ないふりをする現実と、子どもは票にならないとないがしろにするような政治家達を動かすために、山野氏は、行政の好きな効率を使って働きかける。

子どもの貧困は、学力の低下、体力の低下など、たくさんのリスクを生み出し、そのことが、貧困の中で育った子どもは、貧困にあえぐ大人になるパーセンテージを上げていく。つまり、貧困のスパイラルを作っていくことになる。これは、近い将来、日本の大きな社会問題になることは必至で、ひいては国の損失。簡単に自己責任で片付けられることではない。今ここで、行政がもっと強い手を打つべきだ、と。(さ)

いちど来てみませんか?

小平市男女共同参画センター

# ひらく

(愛称)

〒187-0031 小平市小川東町4-2-1 小平元気村おがわ東 2階

042-348-2112 (青少年センター兼用)

西武拝島線・西武多摩湖線 萩山駅南口より徒歩5分

※駐車場に限りがありますので、車での来館はご遠慮ください

●開館時間 午前9時～午後10時

●休館日 火曜日・年末年始・奇数月の第2日曜日

●問合せ 次世代育成部青少年男女平等課

042-346-9618





行って  
みました

## NPO法人「育て上げ」ネット

ニート・ひきこもりと呼ばれる若者たち。様々な不安を抱えて一歩を踏み出せない若者と  
その家族をサポートし、就労支援を行っているNPO法人「育て上げ」ネットを訪ねました。



### ●ジョブトレ～若年者就労基礎訓練プログラム～

「社会的に孤立し排除されがちな若者たちを社会的に包摂していく。その体制を整えていくのが私たちの使命です」そうおっしゃるのは、同法人理事・事業統括部長の山本賢司さん。その志のもと、メインになるのが「ジョブトレ」という若年者就労基礎訓練プログラムだ。グループ活動を基本とした継続的なメニューに取り組むことにより、就労に向け少しずつステップアップしていく。最初の難関「生活改善」は毎回定時に事務所に通うことで生活リズムを整える。その後は地域や企業からいただいた多様な業務を体験訓練。進路決定まで就労サポートし、「働き続ける」ためのフォローアップは就労後も続く。



ジョブトレは、地元商店街からの依頼仕事や近隣農家のお手伝い、企業実習など様々

### ●ユース・コーディネーター

不安な想いで一歩を踏み出した参加者をサポートするのが、ユース・コーディネーターだ。昼間は同じ作業で汗をかき、事務所に帰れば一緒にゲームをしたり、遊んだり…。参加者の複雑な心情を把握して目と気を配り、その時々での悩みの相談にもなる。参加者にとって上司であり、同僚であり、仲間であり、いい兄ちゃんでもある彼らの果たす役割は大きく、その存在は心強い。

### ●つながること

コミュニケーションが苦手な参加者には、自然と雑談に入って仲間ができるように促す。ジョブトレ上の仮想コミュニティでは、対上司、対同僚、対仲間など、いろいろな関係やつながりを体験するが、「見ず知らずの人とも仲良くなれるんだ」という体験は、社会参加していくうえで大きな自信につながるという。「友達ができると定着率が上がります。友達がいれば楽しいですし。楽しくなければ続きませんよね」と山本さん。ジョブトレがグループ活動を基本とし、就労後のフォローアップで孤立化を防ぐ方策を組んでいるのも、ポイントは「誰かとつながること」にあるようだ。

### ●保護者支援も

孤立するのは親も同じ。我が子がニートやひきこもりになった時、親としてどうしたらいいのか、一人で悩んで不安を抱え込む。親子とも疲弊してしまう前に、そのご家族をサポートするのが、母親の会「結(ゆい)」の活動だ。最も身近な存在である保護者が支援機関とつながり、効果的な接し方や伝え方を学び、本人と社会がつながる後押しをしていく。動き出せない我が子を前にまず親自身が変わることによって状況を変えていこうというのがその主旨だ。実際ジョブトレ参加者の7割は、まず親がその門戸を叩いている。「一人で悶々とさせないことが一番。それは本人も親御さんも一緒です」と山本さん。同法人のサポートは、本人、家族、そして予防的に学齢期の若者支援まで広がり、地域や企業、行政へ多角的なつながりもみせる。そうやって「育て上げ」るのは、社会そのものなのだろう。

※詳しい支援内容や費用についてはホームページ等でご確認ください。



イベント、レジャーなどで交流の輪を広げることも

### NPO法人「育て上げ」ネット

- ◆場所：〒190-0011 東京都立川市高松町2-9-22 生活館ビル3F JR中央線立川駅北口より徒歩12分
- ◆電話：042-527-6051
- ◆HP：http://www.sodateage.net
- ◆E-mail：info@sodateage.net



### ひらくはココにあります

男女共同参画センター「ひらく」、公民館(11館)、図書館(11館)、地域センター(18館) 福祉会館、総合体育館、児童館、健康センター、市役所1F2F、東部・西部出張所、郵便局(17か所) 市内各駅(7か所)、八坂駅、萩山駅、東大和市駅

- 小川町 多加楽、手作のクッキーの店歩、商工会館、JA東京むさし、コーヒーロッジベル
- 小川西町 佐野商店
- 小川東町 キャラリー青らんざ、長江夏、フレッドファクトリー-510、カフェAir
- 上水本町 アトリエ・パンセ
- 津田町 ハタエコンサーン
- 学園西町 ヒューティサロンサンローズ、中森書店、百の豆木、梁里館、美容室ヘアグラッシュ、鈴木小児科 本野歯科、ヘアサロン サンライズ、あかね薬局、床屋のけんちゃん
- 学園東町 日本堂文具店、梅の里、アクティブスタジオ、りそな銀行小平支店、ゲン・パン・カフェ おだまき工房、カシユカシユ、お花のしのぎさき、きそ歯科クリニック、ふく歯科、健康センター丸新 ミサワホームインナー・複学園店
- 英町 多摩済生病院、ラグラス、珈琲の香、POEM、永田珈琲、ルネこだいら、小平駅前クリニック
- 苗草町 ケアタウン小平
- 鈴木町 和菓子玉川屋、さらはうす
- 天神町 公立昭和病院、カフェリアヴェルデ、ヘアサロンひろ
- 大沼町 ガスミュージアム
- 花小金井 上原薬局、風のシンフォニー、辰砂

## 編集後記

◆アフタメーション(自己説得)にはまり中。様々なメディアからの否定的な言葉により潜在意識で「どっせ無理」と行動を抑制しないよう、積極的なメッセージで自分に語りかけ、なりたい自分になる。そう、夢は叶うのです！

◆「そのうち」とか「いつの間にか」という言葉に、いったいいつのことかとそのあいまいな表現に憤慨することがある。変化が欲しいときは特に、だ。変化が見えないとあせりや気落ちに直結してしまうから。そして「いつの間にか」時が経つと、時への思いは、こちらの心持ちだけの問題だったと仕切り直すことになる。(S)